

平成 2 0 年度

県立病院事業会計決算（見込み）の概要

平成 2 1 年 8 月

1. 病院事業全体

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	25,967	27,322	▲ 1,355	▲ 5.0	26,995	▲ 1,027	▲ 3.8
医業収益	22,317	23,638	▲ 1,321	▲ 5.6	23,332	▲ 1,015	▲ 4.4
入院収益	17,448	18,216	▲ 768	▲ 4.2	18,290	▲ 841	▲ 4.6
外来収益	3,683	4,242	▲ 559	▲ 13.2	3,850	▲ 166	▲ 4.3
一般会計繰入金	839	759	80	10.5	828	11	1.3
その他	347	421	▲ 74	▲ 17.7	364	▲ 18	▲ 4.9
医業外収益	3,650	3,684	▲ 34	▲ 0.9	3,663	▲ 13	▲ 0.4
一般会計繰入金	3,545	3,615	▲ 70	▲ 1.9	3,545	▲ 0	▲ 0.0
その他	105	69	36	52.9	117	▲ 13	▲ 10.8
病院事業費用	26,836	28,210	▲ 1,374	▲ 4.9	27,662	▲ 825	▲ 3.0
医業費用	25,240	26,416	▲ 1,175	▲ 4.4	25,880	▲ 639	▲ 2.5
給与費	12,632	12,491	142	1.1	12,987	▲ 353	▲ 2.7
材料費	6,471	6,970	▲ 499	▲ 7.2	6,864	▲ 392	▲ 5.7
(うち医療材料費)	6,255	6,738	▲ 483	▲ 7.2	6,644	▲ 389	▲ 5.9
経費	3,445	4,396	▲ 951	▲ 21.6	3,255	190	5.8
減価償却費	2,542	2,420	122	5.0	2,590	▲ 48	▲ 1.9
その他費用	148	139	9	6.8	184	▲ 35	▲ 19.3
医業外費用	1,596	1,794	▲ 198	▲ 11.1	1,782	▲ 187	▲ 10.5
支払利息	905	1,090	▲ 185	▲ 17.0	1,111	▲ 205	▲ 18.5
その他	690	704	▲ 14	▲ 1.9	672	19	2.8
収支差	▲ 868	▲ 888	19	—	▲ 666	▲ 201	—

※ 四捨五入等の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 患者数について

(単位：人、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
延入院患者数	376,703	436,175	▲ 59,472	▲ 13.6	406,235	▲ 29,532	▲ 7.3
宮崎病院	156,513	173,375	▲ 16,862	▲ 9.7	157,458	▲ 945	▲ 0.6
延岡病院	128,640	149,650	▲ 21,010	▲ 14.0	147,659	▲ 19,019	▲ 12.9
日南病院	83,434	94,900	▲ 11,466	▲ 12.1	90,254	▲ 6,820	▲ 7.6
富養園	8,116	18,250	▲ 10,134	▲ 55.5	10,864	▲ 2,748	▲ 25.3
延外来患者数	354,540	475,794	▲ 121,254	▲ 25.5	415,300	▲ 60,760	▲ 14.6
宮崎病院	158,297	165,240	▲ 6,943	▲ 4.2	167,018	▲ 8,721	▲ 5.2
延岡病院	91,633	148,230	▲ 56,597	▲ 38.2	117,512	▲ 25,879	▲ 22.0
日南病院	95,117	145,800	▲ 50,683	▲ 34.8	117,602	▲ 22,485	▲ 19.1
富養園	9,493	16,524	▲ 7,031	▲ 42.6	13,168	▲ 3,675	▲ 27.9

③ 特記事項（病院事業全体）

病院事業全体の収支は、8億6,800万円余の赤字
～ 3年連続で、中期経営計画の目標を上回る改善を達成

- ・収 支 (計画比 + 1,900万円余)
(前年度比 ▲2億 100万円余)

延患者数は、入院、外来ともに計画を下回っており、前年度より減となっている。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲59,472人 ▲13.6%)
(前年度比 ▲29,532人 ▲7.3%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲121,254人 ▲25.5%)
(前年度比 ▲60,760人 ▲14.6%)

病院事業収益は、計画比では、入院、外来ともに計画を下回ったことにより、
13億5,500万円余下回る。
また、前年度比では、入院、外来ともに前年度を下回ったことにより、
10億2,700万円余の減

- ・入院収益 (計画比 ▲7億6,800万円余)
(前年度比 ▲8億4,100万円余)
- ・外来収益 (計画比 ▲5億5,900万円余)
(前年度比 ▲1億6,600万円余)

病院事業費用は、計画比では、材料費、経費等が計画を下回ったため、
13億7,400万円余下回る。
また、前年度比では、給与費、材料費等の減等により8億2,500万円余の減

- ・給 与 費 (計画比 +1億4,200万円余)
(前年度比 ▲3億5,300万円余)
※ 退職給与金 (前年度比) ▲1億6,900万円余
- ・材 料 費 (計画比 ▲4億9,900万円余)
(前年度比 ▲3億9,200万円余)
※ 医療材料費 (前年度比) ▲3億8,900万円余
- ・経 費 (計画比 ▲9億5,100万円余)
(前年度比 +1億9,000万円余)

2. 病院別

(1) 宮崎病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	10,898	10,643	255	2.3	10,917	▲ 17	▲ 0.2
医業収益	9,654	9,381	273	2.9	9,672	▲ 18	▲ 0.2
入院収益	7,520	7,455	65	0.9	7,640	▲ 120	▲ 1.6
外来収益	1,665	1,499	165	11.0	1,573	91	5.8
一般会計繰入金	336	303	33	10.8	331	5	1.4
その他	133	124	10	7.8	127	6	4.6
医業外収益	1,245	1,262	▲ 17	▲ 1.4	1,245	0	0.0
一般会計繰入金	1,195	1,222	▲ 27	▲ 2.2	1,195	0	0.0
その他	49	40	10	25.2	50	▲ 0	▲ 0.9
病院事業費用	10,737	10,670	67	0.6	10,755	▲ 17	▲ 0.2
医業費用	10,403	10,208	195	1.9	10,265	138	1.3
給与費	5,155	4,959	196	3.9	5,166	▲ 11	▲ 0.2
材料費	3,048	2,759	289	10.5	2,939	108	3.7
(うち医療材料費)	2,959	2,664	295	11.1	2,852	107	3.7
経費	1,425	1,810	▲ 385	▲ 21.3	1,346	78	5.8
減価償却費	724	620	104	16.7	715	9	1.3
その他	51	60	▲ 9	▲ 15.1	98	▲ 48	▲ 48.5
医業外費用	335	462	▲ 127	▲ 27.6	490	▲ 155	▲ 31.7
支払利息	68	207	▲ 139	▲ 67.2	235	▲ 167	▲ 71.1
その他	267	256	11	4.5	255	12	4.7
収支差	161	▲ 27	187	—	162	▲ 0	—

※ 四捨五入等の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	19年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	84.2	91.9	▲ 7.7	—	84.5	▲ 0.3	—
2. 平均在院日数(日)	16.4	H22 17.0以下	▲ 0.6	—	15.1	1.3	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	48,050	43,000	5,050	11.7	48,524	▲ 474	▲ 1.0
(2) 外来	10,515	9,000	1,515	16.8	9,418	1,097	11.6
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	53.4	52.9	0.5	—	53.4	0.0	—
(2) 医療材料費	30.6	28.4	2.2	—	29.5	1.1	—
5. 経常収支比率(%)	101.5	99.7	1.8	—	101.5	0.0	—

③ 特記事項

宮崎病院 ～ 1億6,100万円余の黒字
(対計画比 +1億8,700万円余、対前年度比 同程度)

〔概要〕

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲16,862人 ▲9.7%)
(前年度比 ▲945人 ▲0.6%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲6,943人 ▲4.2%)
(前年度比 ▲8,721人 ▲5.2%)

※ 医療の棲み分けが進み、軽症患者が地域の医療機関に回ったこと等による。

○ 収益 … 入院は、計画は上回ったが、前年度を下回った。 外来は、計画及び前年度を上回った。

- ・入院収益 (計画比 +6,500万円余)
(前年度比 ▲1億2,000万円余)
※ 単価が計画を上回ったが、前年度を下回ったため。
- ・外来収益 (計画比 +1億6,500万円余)
(前年度比 +9,100万円余)
※ 単価が計画及び前年度を上回ったため。

○ 費用 … 給与費は、計画は上回ったが、前年度を下回った。 材料費は、計画及び前年度を上回った。 経費は、計画は下回ったが、前年度を上回った。

- ・給与費 (計画比 +1億9,600万円余)
(前年度比 ▲1,100万円余)
※ 退職給与金の減等により、前年度より減少した。
- ・材料費 (計画比 +2億8,900万円余)
(前年度比 +1億800万円余)
※ 薬品費の増等により、昨年度より増加した。
- ・経費 (計画比 ▲3億8,500万円余)
(前年度比 +7,800万円余)
※ 事務の委託化による委託費の増等により、昨年度より増加した。

〔診療機能の見直し等〕

○ 外来化学療法の実施

医師をさらに1名確保し、外来化学療法の実施を図った。(4月)
(H19 1,789件 → H20 1,902件)

○ 医師の確保

血液内科1名、循環器内科1名を確保した。(4月)

(2) 延岡病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	9,098	9,909	▲ 811	▲ 8.9	9,878	▲ 779	▲ 7.9
医業収益	7,966	8,792	▲ 827	▲ 9.4	8,739	▲ 774	▲ 8.9
入院収益	6,544	7,004	▲ 460	▲ 6.6	7,131	▲ 587	▲ 8.2
外来収益	1,013	1,375	▲ 362	▲ 26.3	1,194	▲ 181	▲ 15.2
一般会計繰入金	279	271	9	3.2	271	8	3.1
その他	130	143	▲ 13	▲ 9.4	143	▲ 13	▲ 9.2
医業外収益	1,133	1,117	16	1.4	1,139	▲ 6	▲ 0.5
一般会計繰入金	1,097	1,097	1	0.1	1,096	1	0.1
その他	35	21	15	72.2	42	▲ 7	▲ 16.5
病院事業費用	9,599	10,193	▲ 593	▲ 5.8	10,038	▲ 437	▲ 4.4
医業費用	8,835	9,393	▲ 558	▲ 5.9	9,239	▲ 404	▲ 4.4
給与費	4,305	4,051	254	6.3	4,350	▲ 44	▲ 1.0
材料費	2,271	2,889	▲ 618	▲ 21.4	2,661	▲ 389	▲ 14.6
(うち医療材料費)	2,199	2,814	▲ 614	▲ 21.8	2,585	▲ 386	▲ 14.9
経費	1,150	1,357	▲ 207	▲ 15.3	1,084	65	6.0
減価償却費	1,061	1,053	7	0.7	1,090	▲ 30	▲ 2.7
その他	48	43	5	12.6	54	▲ 6	▲ 11.5
医業外費用	765	800	▲ 35	▲ 4.4	798	▲ 33	▲ 4.2
支払利息	517	524	▲ 7	▲ 1.3	541	▲ 23	▲ 4.3
その他	248	276	▲ 28	▲ 10.2	258	▲ 10	▲ 3.9
収支差	▲ 501	▲ 283	▲ 217	—	▲ 159	▲ 341	—

※ 四捨五入等の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	19年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	77.3	89.1	▲ 11.8	—	88.1	▲ 10.8	—
2. 平均在院日数 (日)	16.1	H22 14.0以下	2.1	—	15.0	1.1	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	50,867	46,800	4,067	8.7	48,297	2,570	5.3
(2) 外来	11,056	9,200	1,856	20.2	10,162	894	8.8
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	54.0	46.1	7.9	—	49.8	4.2	—
(2) 医療材料費	27.6	32.0	▲ 4.4	—	29.6	▲ 2.0	—
5. 経常収支比率 (%)	94.8	97.2	▲ 2.4	—	98.4	▲ 3.6	—

③ 特記事項

延岡病院 ～ 5億 100万円余の赤字
(対計画比 ▲2億1,700万円余、対前年度比 ▲3億4,100万円余)

【概要】

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲21,010人 ▲14.0%)
(前年度比 ▲19,019人 ▲12.9%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲56,597人 ▲38.2%)
(前年度比 ▲25,879人 ▲22.0%)
※ 内科医師数減の影響や、コンビニ受診自粛の効果等による。

○ 収益 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・入院収益 (計画比 ▲4億6,000万円余)
(前年度比 ▲5億8,700万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。
- ・外来収益 (計画比 ▲3億6,200万円余)
(前年度比 ▲1億8,100万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。

○ 費用 … 給与費は、計画は上回ったが、前年度を下回った。 材料費は、計画及び前年度を下回った。 経費は、計画は下回ったが、前年度を上回った。

- ・給与費 (計画比 +2億5,400万円余)
(前年度比 ▲4,400万円余)
※ 職員数の減等により、昨年度より減少した。
- ・材料費 (計画比 ▲6億1,800万円余)
(前年度比 ▲3億8,900万円余)
※ 患者数や手術件数の減等により、昨年度より減少した。
- ・経費 (計画比 ▲2億700万円余)
(前年度比 +6,500万円余)
※ 事務の委託化による委託費の増等により、昨年度より増加した。

【診療機能の見直し等】

○ DPCの導入

診療報酬を包括で請求するDPCを導入し、医療の標準化・透明化を図り質の向上に努めた。(4月)

○ 医療安全管理者の設置

医療事故を防止し、安全で質の高い医療を提供するため、部署を超えた組織的な取組の推進を図ることを目的として、医療安全管理者を設置した。(4月)

(3) 日南病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	5,237	5,831	▲ 594	▲ 11.3	5,374	▲ 136	▲ 2.5
医業収益	4,405	5,000	▲ 595	▲ 11.9	4,535	▲ 130	▲ 2.9
入院収益	3,265	3,511	▲ 247	▲ 7.0	3,355	▲ 90	▲ 2.7
外来収益	894	1,176	▲ 282	▲ 24.0	927	▲ 32	▲ 3.5
一般会計繰入金	163	160	3	2.0	162	2	1.1
その他	82	152	▲ 70	▲ 46.0	92	▲ 9	▲ 10.3
医業外収益	833	831	2	0.3	839	▲ 6	▲ 0.7
一般会計繰入金	822	824	▲ 2	▲ 0.2	822	▲ 0	▲ 0.0
その他	11	7	4	51.9	17	▲ 6	▲ 33.9
病院事業費用	5,615	6,129	▲ 513	▲ 8.4	5,933	▲ 317	▲ 5.3
医業費用	5,147	5,622	▲ 476	▲ 8.5	5,452	▲ 306	▲ 5.6
給与費	2,516	2,615	▲ 99	▲ 3.8	2,768	▲ 251	▲ 9.1
材料費	1,094	1,248	▲ 153	▲ 12.3	1,173	▲ 78	▲ 6.6
(うち医療材料費)	1,045	1,200	▲ 154	▲ 12.9	1,124	▲ 78	▲ 6.9
経費	776	1,017	▲ 241	▲ 23.7	735	41	5.6
減価償却費	725	712	13	1.8	749	▲ 24	▲ 3.2
その他	34	31	4	12.2	27	7	25.7
医業外費用	469	507	▲ 38	▲ 7.5	480	▲ 11	▲ 2.4
支払利息	320	354	▲ 33	▲ 9.4	334	▲ 14	▲ 4.2
その他	149	153	▲ 5	▲ 3.0	146	3	1.9
収支差	▲ 377	▲ 298	▲ 79	—	▲ 559	181	—

※ 四捨五入等の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	19年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	81.3	92.9	▲ 11.6	—	87.8	▲ 6.5	—
2. 平均在院日数(日)	17.8	H22 19.0以下	▲ 1.2	—	18.1	▲ 0.3	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	39,128	37,000	2,128	5.8	37,171	1,957	5.3
(2) 外来	9,401	8,000	1,401	17.5	7,878	1,523	19.3
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	57.1	52.3	4.8	—	61.0	▲ 3.9	—
(2) 医療材料費	23.7	24.0	▲ 0.3	—	24.8	▲ 1.1	—
5. 経常収支比率(%)	93.3	95.1	▲ 1.8	—	90.6	2.7	—

③ 特記事項

日南病院 ～ 3億7,700万円余の赤字
(対計画比 ▲7,900万円余、対前年度比 +1億8,100万円余)

【概要】

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲11,466人 ▲12.1%)
(前年度比 ▲6,820人 ▲7.6%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲50,683人 ▲34.8%)
(前年度比 ▲22,485人 ▲19.1%)

※ コンビニ受診自粛の効果等による減や、整形外科の理学療法士の休業、産婦人科の他病院への正常分娩患者の移行等による減。

○ 収益 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・入院収益 (計画比 ▲2億4,700万円余)
(前年度比 ▲9,000万円余)
- ・外来収益 (計画比 ▲2億8,200万円余)
(前年度比 ▲3,200万円余)

※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。

※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。

○ 費用 … 給与費は、計画及び前年度を下回った。

材料費は、計画及び前年度を下回った。

経費は、計画は下回ったが、前年度を上回った。

- ・給与費 (計画比 ▲9,900万円余)
(前年度比 ▲2億5,100万円余)
- ・材料費 (計画比 ▲1億5,300万円余)
(前年度比 ▲7,800万円余)
- ・経費 (計画比 ▲2億4,100万円余)
(前年度比 +4,100万円余)

※ 退職給与金の減等により、昨年度より減少した。

※ 患者数や手術件数の減等により、昨年度より減少した。

※ 事務の委託化による委託費の増等により、昨年度より増加した。

【診療機能の見直し等】

○ 医療安全管理者の設置

医療事故を防止し、安全で質の高い医療を提供するため、部署を超えた組織的な取組の推進を図ることを目的として、医療安全管理者を設置した。(4月)

○ 医療費の支払方法の利便性向上

医療費の時間外窓口での計算を開始するとともに、合わせて夜間でもクレジット払いを利用可能とし、利便性向上と未収金の発生防止に努めた。(5月)

(4) 富養園

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率	19年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	732	938	▲ 206	▲ 28.1	826	▲ 94	▲ 11.4
医業収益	293	465	▲ 172	▲ 37.0	386	▲ 93	▲ 24.1
入院収益	120	246	▲ 126	▲ 51.2	163	▲ 42	▲ 25.8
外来収益	111	192	▲ 80	▲ 41.9	156	▲ 45	▲ 28.8
一般会計繰入金	60	25	35	143.9	64	▲ 4	▲ 6.5
その他	2	2	▲ 1	▲ 25.2	3	▲ 1	▲ 40.0
医業外収益	439	473	▲ 34	▲ 7.2	440	▲ 1	▲ 0.2
一般会計繰入金	431	472	▲ 42	▲ 8.8	432	▲ 2	▲ 0.4
その他	9	1	8	751.2	8	0	6.1
病院事業費用	883	1,218	▲ 335	▲ 27.5	937	▲ 53	▲ 5.7
医業費用	857	1,193	▲ 336	▲ 28.2	923	▲ 67	▲ 7.2
給与費	657	866	▲ 209	▲ 24.1	703	▲ 46	▲ 6.6
材料費	58	74	▲ 16	▲ 21.0	91	▲ 32	▲ 35.1
(うち医療材料費)	51	60	▲ 9	▲ 15.0	83	▲ 32	▲ 38.1
経費	95	213	▲ 118	▲ 55.5	90	4	4.5
減価償却費	31	34	▲ 3	▲ 7.4	36	▲ 4	▲ 11.6
その他	15	6	9	150.2	4	11	292.9
医業外費用	27	25	2	6.7	13	14	102.2
支払利息	0	6	▲ 6	▲ 98.0	1	▲ 1	▲ 84.0
その他	27	19	8	39.7	12	14	113.3
収支差	▲ 151	▲ 280	128	—	▲ 110	▲ 40	—

※ 四捨五入等の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	20年度決算	20年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	19年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	37.7	49.0	▲ 11.3	—	50.3	▲ 12.6	—
2. 平均在院日数 (日)	72.0	H22 71.0以下	1.0	—	93.9	▲ 21.9	—
3. 患者一日あたり診療収入 (円)							
(1) 入院	14,812	13,500	1,312	9.7	15,001	▲ 189	▲ 1.3
(2) 外来	11,719	11,500	219	1.9	11,871	▲ 152	▲ 1.3
4. 医業収益に対する割合 (%)							
(1) 職員給与費	224.3	186.4	37.9	—	182.2	42.1	—
(2) 医療材料費	17.5	13.0	4.5	—	21.5	▲ 4.0	—
5. 経常収支比率 (%)	82.9	77.0	5.9	—	88.2	▲ 5.3	—

③ 特記事項

富養園 ～ 1億5,100万円余の赤字
(対計画比 +1億2,800万円余、対前年度比 ▲4,000万円余)

〔概要〕

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲10,134人 ▲55.5%)
(前年度比 ▲2,748人 ▲25.3%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲7,031人 ▲42.6%)
(前年度比 ▲3,675人 ▲27.9%)

※ 閉園に向け、入院患者の転退院や外来患者の転院を促進したことによる。

○ 収益 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・入院収益 (計画比 ▲1億2,600万円余)
(前年度比 ▲4,200万円余)
- ・外来収益 (計画比 ▲8,000万円余)
(前年度比 ▲4,500万円余)

※ 単価は計画を上回り、前年度を下回ったが、患者数減の影響が大きかった。

※ 単価は計画を上回り、前年度を下回ったが、患者数減の影響が大きかった。

○ 費用 … 給与費は、計画及び前年度を下回った。

材料費は、計画及び前年度を下回った。

経費は、計画は下回ったが、前年度を上回った。

- ・給与費 (計画比 ▲2億900万円余)
(前年度比 ▲4,600万円余)
- ・材料費 (計画比 ▲1,600万円余)
(前年度比 ▲3,200万円余)
- ・経費 (計画比 ▲1億1,800万円余)
(前年度比 +400万円余)

※ 職員数の減等により、昨年度より減少した。

※ 患者数の減等により、昨年度より減少した。

※ 閉園に伴う敷地測量業務などの委託費の増等により、昨年度より増加した。

〔診療機能の見直し等〕

○ 閉園に伴う入院患者の転退院の促進や外来患者の転院先の紹介

富養園の閉園のため、平成21年1月以降入院、外来とも患者の新規受け入れを原則中止し、転退院の調整を行った。(すべての患者の転退院を実施)

○ 県立病院宮崎病院精神医療センターの開設準備

平成21年4月からの円滑な診療開始に向け、環境の整備等を行った。